

茶

京都のお茶

宇治茶が紡ぐ、山城の旅

UJI CITY / JOYO CITY / YAWATA CITY / KYOTANABE CITY /
KIZUGAWA CITY / KUMIYAMA TOWN /
IDE TOWN / UJITAWARA TOWN /
KASAGI TOWN / WAZUKA TOWN /
SEIKA TOWN / MINAMIYAMASHIRO VILLAGE



お茶の京都

日本茶800年の歴史散歩



抹茶、煎茶、玉露を生み出した 日本茶のふるさと

京都府の南部に位置する山城地域。

この地は古くから水運の利便や茶栽培に適した
土壌・気候であることから

鎌倉時代に中国より伝えられたお茶の栽培法を
明恵上人が宇治の里人に伝授して以来、
約800年にも渡り「日本茶のふるさと」として
日本のお茶文化を支えてきました。

宇治茶が日本茶のトップブランドとなったのは室町時代。
将軍家の命により、

露地栽培による高品質な茶栽培茶園「七茗園」が
宇治に設置されました。

戦国時代になると千利休による「茶の湯」の確立とともに、
葦で編んだ簀で直射日光を避ける覆下栽培で「碾茶」が作られ、
旨味を凝縮した濃緑色の「抹茶」が誕生します。

江戸時代に入ると、永谷宗円が青製煎茶製法を編み出し、
色、香り、味に優れた「煎茶」が誕生。

緑茶が江戸を中心に庶民にも普及していきます。
そして、さらなる上質なお茶を追求し、
生み出されたのが甘みとコクが豊かな「玉露」。

宇治茶ブランドは不動の地位を確立しました。
明治時代、宇治茶は日本国外でも愛飲されるようになります。

茶葉の海外輸出にともない、茶園の面積が拡大。
山腹から山頂へと広がっていき、

現在の童仙房、高尾、田山、今山、石寺、白栖、原山、釜塚などの
茶畑の風景を形作っています。

2015年には、こうした宇治茶の歴史と文化、
美しい茶畑の景観を通じたストーリーが

「日本茶800年の歴史散歩」として
日本遺産第1号に認定され、さらに、

宇治茶の世界文化遺産登録に向けた取り組みも行われています。
信長、秀吉、家康ら、時の天下人に引き立てられながら、

製茶技術の工夫と品質の向上・生産の拡大によって
「抹茶」「煎茶」「玉露」を生み出した日本で唯一の地。

そんな宇治茶によって紡がれた山城地域を私たちは
「お茶の京都」と名付け、

日本のみならず、世界に発信していくことにしました。

【目次】

- 01 | 02 お茶の京都エリア(山城地域)
- 03 | 04 歴史と文化を巡る。
- 05 | 06 お茶の香りに導かれる。
- 07 | 08 土地の食を味わう。
- 09 | 10 景観を心に刻む。
- 11 | 12 お茶を、自然を体験する。
- 13 | 心と体を休める宿がある。
- 14 | おみやげで思い出を残す。
- 15 | 16 アクセスマップ

自然に包まれて、 歴史散歩や名店巡り 宇治茶が紡ぐ、 ゆったり大人の旅へ

お茶の京都エリア（山城地域）は、
宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、
久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、
和束町、精華町、南山城村、
5つの市と6つの町、
そして京都府内で唯一の村からなる
12の市町村で構成されています。
北は京都市、南は奈良県、西は大阪府、
東は滋賀県・三重県と接しており、
古くから多くの貴族の別荘や社寺が立ち並び、
人・モノ・文化が行き来する
交流の地として栄えてきました。
独自の歴史と文化を有することは前述したとおり。
ユネスコの世界遺産に登録されている
「平等院」「宇治上神社」のほか、
エリア内には国宝や重要文化財を有する社寺が点在。
京都や奈良と比較し、観光地化されていない場所が多く
ありのままの歴史・文化を堪能できるのも
特徴のひとつとなっています。
日本遺産に認定された茶生産の景観はもちろん、
いたるところに残る豊かな自然が美しく、
一方で、モダンなレストランや
カフェが立ち並ぶエリアも。
大自然の息吹を感じながら、
歴史散歩に名店巡り。

宇治茶が紡ぐ、お茶の京都エリアならではの
大人の旅が堪能できます。



精華町 SEIKA TOWN
近畿圏のほぼ中央に位置する精華町。豊かな自然と歴史を大切に継承しながら、関西文化学術研究都市の中心地としての開発も進んでいる創造性豊かな町です。



笠置町 KASAGI TOWN
歴史と自然が調和する笠置町。後醍醐天皇が行在所を置いた笠置山には当時を偲ぶ史跡が多く残り、「笠置寺」にある日本最古最大の御本尊「弥勒大摩崖仏」が見る者を圧倒します。



井手町 IDE TOWN
京都と奈良の中間に位置し、豊かな自然や里山が広がる井手町。平成の名水百選に選ばれた玉川は桜の名所。昔から多くの歌人に親しまれ、たくさんの歌にも詠まれています。



木津川市 KIZUGAWA CITY
京都府最南端に位置する木津川市。奈良時代には、恭仁京として、短命ではあったが日本の都となった地。京都市に次いで、多くの国宝や重要文化財が現存する地域でもあります。



八幡市 YAWATA CITY
大阪と京都の中間、どちらからでも約30分で訪れることができる八幡市。日本三大八幡宮のひとつ「石清水八幡宮」や松花堂庭園・美術館を有する歴史豊かな地域です。



宇治市 UJI CITY
「平等院」や「宇治上神社」をはじめ、数々の史跡に恵まれる宇治市。源氏物語の最終章「宇治十帖」の舞台にもなっており、訪れる人々を遠い王朝文学の世界へと誘います。



南山城村 MINAMIYAMASHIRO VILLAGE
京都府唯一の村であり、滋賀、奈良、三重の三県に隣接する南山城村。近年、アートフェスティバルが催されるなど、ものづくりの村としても注目されています。



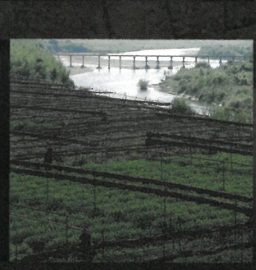
和束町 WAZUKA TOWN
澄んだ空気と涼やかな気候に恵まれ、京都府一のお茶の生産量を誇る和束町。緑豊かな山腹に広がる茶畑とそこで暮らす農家の集落が一体となった風景に身も心も癒されます。



宇治田原町 UJITAWARA TOWN
大和、近江、京都からの道が集まる交通の要の地として栄えた宇治田原町。永谷宗円が「煎茶」の原点となる青製煎茶製法を編み出すなど、お茶にまつわる歴史が息づく町です。



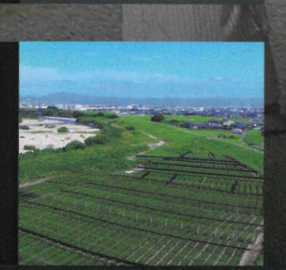
久御山町 KUMIYAMA TOWN
宇治川や木津川の河川敷でさまざまな草花が四季折々の表情を見せる一方、産業も盛んな久御山町。毎年飛来する渡り鳥が、かつてここにあった巨椋池を偲ばせます。



京田辺市 KYOTANABE CITY
一休禪師が晩年を過ごした「一休寺」を有する京田辺市。京都、奈良、大阪を結ぶ三角形の中心に位置し、歴史と文化が色濃く残る町。「玉露」の生産地としても有名です。



城陽市 JOYO CITY
「碾茶」の生産が盛んな城陽市。京都から20km（五里）、奈良から20kmに位置し、「五里五里の里」と呼ばれている地。古墳や史跡など、古代色豊かな町としても知られています。



歴史と文化を巡る。



© 平等院

平等院 宇治市

世界遺産

池に映る鳳凰堂はまるで極楽浄土

光源氏のモデル・源融から藤原道長が譲り受けた別荘を、息子頼通が寺院として開創。屋根に鳳凰を据えた阿弥陀堂は通称・鳳凰堂と呼ばれ、10円硬貨の柄でおなじみ。26体の雲中供養菩薩像を展示するミュージアム鳳翔館も併設。世界遺産。



石清水八幡宮 八幡市

国宝

伊勢神宮に次ぐ国家第二の宗廟

都の裏鬼門(南西)を守護し、「やわたのはちまんさん」と親しまれている。平成28年、現存する最古で最大の八幡造りの本殿など本社10棟と、棟札3枚が国宝に。また、エジソンがこの地の竹を用いて電球開発を行った縁から、エジソン記念碑が設置されている。



宇治上神社 宇治市

世界遺産

現存する日本最古の神社で世界遺産

平安時代に建立され、平等院の鎮守社として信仰を集めてきた。宇治離宮を移築したといわれる拝殿や、3つの社殿が並ぶ本殿は、ともに国宝。境内には宇治七名水のうち唯一残る桐原水が湧く。



地蔵禅院 井手町

境内のしだれ桜は天然記念物に指定

井手の里を一望できる小高い山の中腹に建つ地蔵禅院。地蔵院とも呼ばれており、山号は玉峯山。境内にある樹齢300年近いしだれ桜は、京都・円山公園のしだれ桜の兄弟木にあたり、京都府の天然記念物にも指定されている。

【世界遺産を、国宝を、ゆったり心ゆくままに】

平城京と平安京に挟まれた山城地域には、奈良時代の一時期、恭仁京として都が置かれるなど、豊かな歴史の中で育まれてきた独自の文化が存在します。世界遺産に登録されている「平等院」「宇治上神社」、十棟の本社と三枚の棟札が国宝に認定された「石清水八幡宮」のほか、日本に現存する唯一の「九体阿弥陀仏」を有する「浄瑠璃寺」や、国宝「十一面観音立像」を安置する「大御堂観音寺」など、京都や奈良と比較し、未だ観光地化されていない社寺も多くあり、ゆったりと心ゆくままに山城の歴史・文化に浸ることができます。

笠置寺 笠置町

断崖絶壁に立つ巨大な虚空蔵石

標高288mの笠置山の頂上付近に建つ寺院。至るところに見られる巨岩奇石は古くから信仰対象とされ、胎内くぐりや太鼓石など行場めぐりでも知られる。高さ12m、幅7mの巨石に刻まれた「伝虚空蔵菩薩」も見どころ。

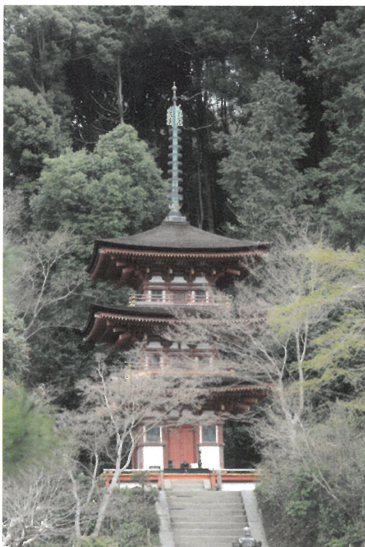


浄瑠璃寺 木津川市

国宝

現存する唯一の九体阿弥陀仏

奈良との府県境「当尾」地域に位置する寺院。京都・一条大宮より解体・移築し、国宝に指定されている三重塔の内部には十六羅漢が描かれている(通常非公開)。本堂(国宝)内に横一列に並ぶ九体阿弥陀仏や四天王立像も国宝。



海住山寺 木津川市

装階がついた五重塔がそびえる

鎌倉時代、貞慶により観音霊場として復興された十一面観音菩薩を本尊とする寺院。国宝の五重塔内部には四天王立像が祀られ、秋の特別公開時に拝観できる。また、寺院が建つ山腹の先端に立てば、遠くに見える金剛山や葛城山の眺望は見事。

国宝



岩船寺 木津川市

華麗なあじさいが彩る三重塔

奈良との府県境「当尾」地域に位置する寺院。山あい建つ重要文化財の三重塔は、新緑や紅葉などに彩られ、季節ごとに表情を変える。初夏は境内一帯のあじさいが見頃を迎え、華やかな雰囲気。

国宝

萬福寺 宇治市

煎茶の祖と呼ばれる隠元禅師の開いたお寺

日本からの招きに応じて来朝した明代の禅僧隠元が開いた黄檗宗の本山。中国様の伽藍建築や精進料理「普茶料理」が特徴。三門前には江戸後期の俳人・田上菊舎の「山門を出れば日本ぞ 茶摘み唄」の句碑が残る。



酬恩庵 一休寺 京田辺市

一休さんが晩年を過ごした禅寺

枯山水の蓮葉庭園や、等身大の一休禅師像などがある。禅師が伝えたという塩辛一休寺納豆はお土産に人気。庫裏では一休寺納豆のお菓子とともに抹茶をいただける。

大御堂 観音寺 京田辺市

国宝

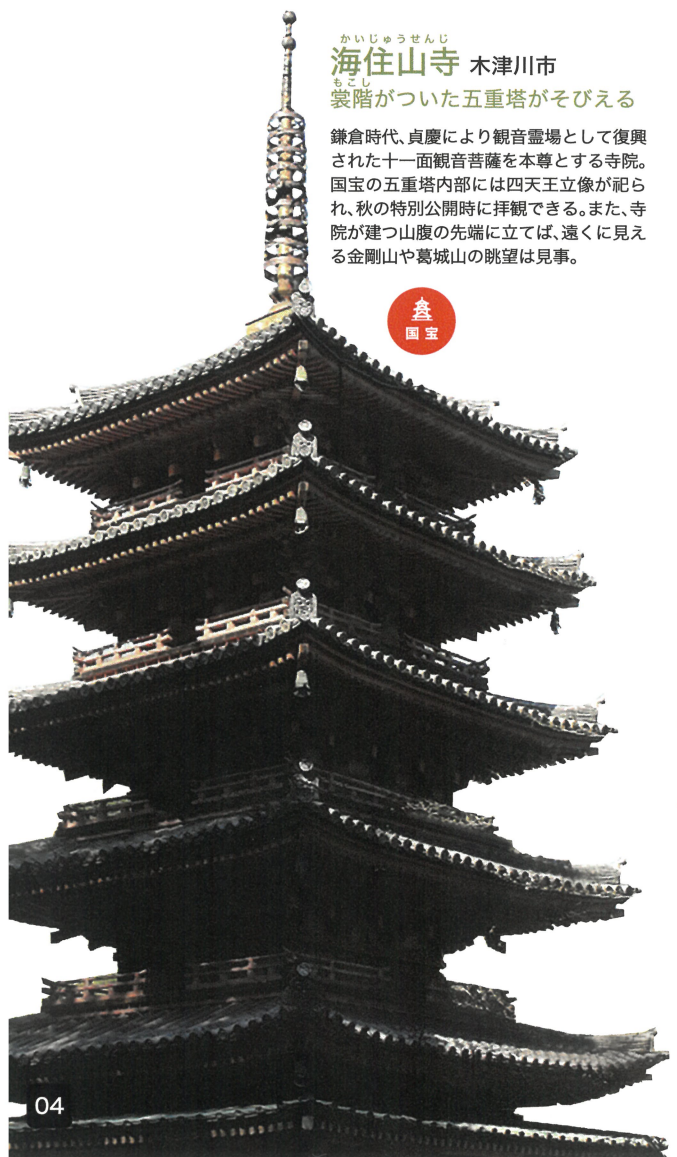
天平文化を伝える十一面観音立像

天武天皇の勅願により義湘僧正が創建。一木式木心乾漆造で国宝でもある本尊の十一面観音立像を間近に拝観できる。春は参道の桜並木が、秋は紅葉が美しく彩る。

寿宝寺 京田辺市

千手千眼観音は眼病平癒祈願にも

国の重要文化財である十一面千手千眼観音立像は、奈良の唐招提寺、大阪の藤井寺の千手観音とともに、三大名作といわれる。前日までに予約すれば拝見が可能。



お茶の京都で お茶の香りに 導かれる。



【お茶に導かれて巡る旅 それらはすべて日本遺産】

鎌倉時代以降の山城地域の歴史は、お茶とともに育まれてきました。宇治橋の橋守として道往く人々にお茶を差し出していた「通圓」は、今もなお此の地で暖簾を掲げ続け、七茗園のひとつ「奥ノ山茶園」も毎年青々と茂ります。「永谷宗円生家」を訪ねれば、緑茶の原点に触れることができ、「上粕茶問屋街」を歩けば、当時の時間の流れを感じます。先人たちの知恵と努力が宇治茶を、日本茶のトップブランドへと押し上げ、中宇治のような風情のある街並みや、石寺や高尾に代表される美しい茶畑の風景を生み出しました。そして2015年、それらが「日本茶800年の歴史散歩」として日本遺産に認定されます。お茶の京都エリアを巡る。それは日本茶800年の歴史そのものを旅するのと同じことなのです。



平等院表参道 宇治市

本場の茶葉を買うならこちら

宇治橋西詰より平等院表門へと続く参道。両脇には茶店や土産店が軒を連ねて賑わう。抹茶をいただきながら茶団子や抹茶スイーツで一服するもよし、本場宇治の茶問屋で茶葉を購入するもよし。



高尾の茶畑 南山城村

珍しい縦畝模様が続く

木津川の水運に恵まれ、幕末より煎茶の輸出が盛んだった南山城村。美しい縦畝模様が空に向かって駆け上がるように続く高尾や田山の茶畑や、標高500mの田園風景に広がる童仙房の茶畑など特徴的な景観がみられる。



ほりいしちめいえん 堀井七茗園 宇治市

足利義満も認めた現存する宇治七茗園の一つ

室町時代、足利將軍の命により設置された宇治七茗園のうち唯一現存する「奥ノ山茶園」で代々茶の生産と販売を続ける堀井七茗園。600年の歴史を持つ名園に育つ茶木から優良茶樹の選抜に約20年かけて取組み、「奥の山」と「成里乃」の2品種を農林水産省に品種登録。特に「成里乃」は苦味を感じさせない旨味とまろやかな味が特徴。平成22年度全国茶品評会で農林水産大臣賞受賞。



photo: yuu kawakami, artless Inc.



photo: yuu kawakami, artless Inc.



かみこま 上粕茶問屋街 木津川市

ノスタルジックな茶問屋街

木津川水運によって茶問屋街が発展した木津川市の上粕地区。大正や昭和初期に建てられた茶問屋の街並みは独特の風情を醸し、お茶のやわらかな香りが漂う。

ながたにそうえん 永谷宗円生家・ 宗円交遊庵やんたん 宇治田原町

日本緑茶発祥の地でゆったりと

日本緑茶の祖「永谷宗円」の生家を復元した建物には、製茶道具や当時の焙炉跡が保存されており、土曜・日曜・祝日に内部を公開しています。近隣には、観光案内やお茶に関する体験プログラムなどを実施する地域の交流拠点「宗円交遊庵やんたん」も。日本緑茶発祥の地をゆったり巡ることができます。

いしでら 石寺の茶畑 和束町

山なりに続く茶畑に心癒されて

煎茶の主産地、和束町。町を流れる和束川がもたらす朝霧がコクのある茶葉を生み出している。緑豊かな山腹に広がる茶畑の景観は、次代に継承すべく資産として、京都府景観資産登録第一号に指定されている。



抹茶の原料となる碾茶を主に生産する城陽市。過去に何度も農林水産大臣賞や産地賞を受賞するなど、その品質は日本一と言っても過言ではない。城陽市の茶園の多くは市を流れる木津川の河川敷にあり、木津川上流の肥沃な土砂の流入と砂地であることがお茶の生産に適していた。また、ある一定期間黒い覆いをかけて育てる覆下栽培の技術の高さも最高級の碾茶を生み出し続ける秘密だ。

【城陽の抹茶】

中宇治の街並み 宇治市

今と昔が溶け合う風情ある街並み

中宇治とは、県通りと宇治橋通り商店街、旧街道を結ぶ三角形のエリアを指す地域。古くから続くお茶屋さんや工芸品店、町家を改装したカフェなどが軒を連ねる風情ある街並みは、日本遺産に選ばれた「日本茶800年の歴史散歩」の構成要素のひとつにもなっている。



05



京田辺市は、日本で一番優れたお茶を決める全国品評会において玉露部門の一等一席農林水産大臣賞を数多く受賞する地域で、産地賞も11回受賞している。京田辺市の玉露がなぜ高品質なのか。それは生産農家の卓越した技術と丁寧な茶園管理、そして製茶技術。長年培った技術が最高級の玉露を生み出している。

【京田辺の玉露】

06

Restaurant



リストランテ ナカモト
木津川市

日本の四季をイタリア料理で表現
フィレンツェやニューヨークで料理を学
んだシェフによるコース料理に定評あり。
地元木津川産の旬野菜もふんだんに使用。



リンデンバウム 宇治田原町
手作り洋食の里山レストラン

宇治田原町の一軒家レストラン。地元
のお茶はもちろん、旬野菜を使った料理や、
天然酵母パンなどが評判。ディナーは1組
限定で要予約。



レストラン スティック
京田辺市

京田辺産の野菜がたっぷり
地元の露地野菜をはじめ、厳選した肉
や魚の滋味を心ゆくまで。窓の外に広
がる畑や竹林の風景を眺めながらゆっ
くりと。

【土地が生んだ多様な食文化
和洋を問わず、名店が点在】

山城地域は京都や奈良、大阪を結ぶ交流の地として栄えてきた歴史があり
古くから都市部の食を支えてきました。
お茶の栽培に適した地域であることから、
美味しい農産物を育てる条件も整っています。
山間部では、朝夕の寒暖差と川霧が育てるしいたけやこんにゃく、
木津川流域では、肥沃な土壌が作るごぼうや大根、
巨椋池干拓地を中心とした農業地帯は、湿地帯が生み出す
ほうれん草や春菊、小松菜などを
私たちに届けてくれます。
懐石料理、鍋料理、精進料理に仕出し弁当、
フレンチ、イタリアン、カフェ、ベーカリーにスイーツ、
今もなおジャンルを問わず、多くの名店が点在し、
みなさまの心を満たしてくれます。

Cafe



dan dan cafe 和束町
絶品ランチを茶畑の絶景と一緒に
石寺の茶畑の景色を堪能しながら、カ
レーやオムライスなどの手作りランチ
が楽しめる絶景カフェ。和束のお茶を
使ったジェラートやパフェも人気。



Cafe ねこばん 南山城村
廃校を利用した週末カフェ
旧田山小学校の校舎で、第1〜3の土日
営業（平日に臨時営業あり）。南山城産
の野菜など地元食材で丁寧に作られた
ベーグルランチなどを味わえる。



ディーマッチャ d:matcha Kyoto 和束町
和束のお茶の魅力を存分に
和束町の良質ななお茶の魅力を伝えるた
め、2017年4月にオープン。お茶を
使った料理やデザート、サイクリスト
のための創作菓子メニューなども。



お茶の京都で

土地の食を味わう。

普茶料理
黄檗山萬福寺 黄龍閣、黄檗山塔頭 宝善院、
白雲庵、銀杏庵 宇治市
四季折々の野菜を使った精進料理

江戸時代初期に中国から来朝し、宇治に黄檗宗大本山萬福寺を開山した隠元禅
師が伝えた精進料理。「普茶」とは、「普く（あまねく）衆人と茶を共にする」とい
う意味を示し、工夫が凝らされた野菜づくしの献立が味わえる。



京都吉兆 松花堂店 八幡市
松花堂弁当発祥の地

江戸時代に活躍した社僧・松花堂昭乗が好んだ
田の字型の箱から発想を得て、吉兆創業者の湯
木貞一が料理を納め、松花堂弁当として世に広
めた。松花堂庭園内にある店舗では、時代と共
に進化したおもてなし弁当「松花堂弁当-雅-」
が楽しめる。併設する美しい庭園を眺めながら
季節の日本料理をぜひ。



和cafe鹿鷲 笠置町
きじ料理が名物の老舗旅館

1890年創業の料理旅館「松本亭」が
営む。名物のきじ釜飯やきじ小鍋、き
じ焼き定食ほか、濃茶わらび餅、グ
リーンティーなど甘味も充実。

ギャラリーカフェ 人と木 木津川市
温もり溢れる古民家を再利用

地元の契約農家が育てた米や旬野菜を使ったランチが評判。
地元食材のオリジナルドレッシングなども販売。



村風土食堂
つちのうぶ 南山城村
村の食文化に触れられる
道の駅の食堂

「道の駅 お茶の京都 みなみやましろ村」内にあ
る地元で生まれたもの「つちのうぶ」をテーマ
にした食堂。旬の食材や日本人の伝統的な世界
観「ハレとケ」など、村の食文化に触れられる。



京料理 佐山 うを梅 久御山町
久御山の京野菜が味わえる老舗

地元・久御山で採れた京野菜や天然ものにこだ
わった鮮魚貝類・肉などを主体に、季節感溢れる
旬の料理が味わえる老舗懐石料理店。

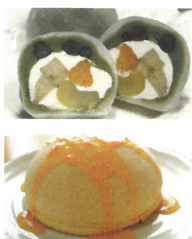
【抹茶スイーツ】

抹茶アイスに抹茶パフェ、
抹茶ソフトクリームに抹茶
ロールケーキ、お茶の京都エ
リアは言わずと知れた抹茶ス
イーツの街。有名茶屋が運営
するカフェがひしめく宇治市
の他にも、茶園や問屋が直接
展開するお店や道の駅の中に
あるソフトクリーム店など、
穴場スポットが各市町村に点
在。探索すればきっと思い出
に残る味に出会えるはず。



写真提供：中村藤吉本店 宇治本店

また、精華町は、多くの和洋
菓子店が集まる「スイーツの
街」として知られており、人口
当たりのスイーツ店の割合が
全国的にも非常に高い地域で
す。「ル・パティシエヤマダ」
「御生菓子司 ふたば」や「パティ
スリーフルルティエ」など、
地域の和洋菓子店7店舗で組
織する「精華町スイーツタウ
ン協会」も精華町のスイーツ
を近隣市町に広めようと活発
にPRしている。



Bakery



REGAL+E 木津川市
名店で腕を磨いたシェフの店
小煮本茶の味わいと、口どけの良さに
こだわり、独自の食感を生み出す人
気のベーカリー。

たま木亭 宇治市
行列が絶えない宇治の人気店
全国のパン好きが訪れる名店。人気商品の
パンシューや、地元のほうじ茶を練り込んだク
リームあんパンなど、どれも具だくさん。



お茶の京都の

景観を心に刻む。



万灯呂山展望台 井手町

お茶の京都エリアを一望

かつて「雨乞い」の儀式の際に行われた松明行列が万灯呂のように見えたことからその名が付いた大峰。標高300mの山頂にある展望台からは、眼下に広がる山城盆地のパノラマを望む。北は京都タワーから、南は生駒丘陵まで、広範囲に眺望できる夜景も見事。



青谷梅林 城陽市

約1万本の白梅の花が咲く 京都府最大の梅林

青谷川の清流に沿うならかな丘陵に広がる青谷梅林。早春には約1万本の白梅の花が咲き、その実は梅干しや梅酒に愛用されている。毎年2月下旬から3月下旬に「梅まつり」が行われ、期間中は自由に見学が可能。

流れ橋(上津屋橋)の風景

八幡市・久御山町・城陽市

茶畑をつなぐ全長356.5mの橋

木津川に架かる木造の橋で、増水時に橋板が流されるしくみ。抹茶の原料である碾茶栽培には砂地が向いていることから、川を挟んで両側に浜茶の茶畑が広がっている。左岸は八幡市、右岸は久御山町、城陽市に渡る。

新緑だけではない 山城地域を彩る魅惑の絶景

山の斜面に鮮やかに敷かれた新緑の絨毯には、誰もが息を呑むでしょう。ただ、それだけではありません。山城盆地の大パノラマを望む絶景。朱色に染まる寺院や白銀の茶畑。木造の橋と川、茶園のコントラスト。自然との調和が生み出した芸術的な日本庭園。そして、全長約1.4キロメートルの桜のトンネル。お茶の京都エリアには、みなさまの心を動かす素晴らしい景観が存在します。

けいはんな記念公園 精華町

四季折々の自然が楽しめる公園

日本の文化・自然をテーマに設計された公園。水景園にある観月橋(延長123m、水面上約10m)からは回遊式日本庭園を眺望できる。春は桜・ツツジ、初夏は新緑、秋は紅葉、冬は野鳥観察など、四季折々の風景が見どころ。

西ノ山展望広場 宇治田原町

茶園が一望できるインスタ映えスポット

西ノ山集団茶園を一望できるウッドデッキの展望広場。遠くに山々を望み、春には美しい茶畑とともにお茶の収穫風景を見ることがも。広場内には箱形のオブジェ「ハートキューブ」が設置されており、インスタ映えスポットとしても人気。



笠置寺の紅葉 笠置町

錦秋、山々が朱色に染まる

秋が深まると、イロハモミジやカエデが色づく笠置山。毎年11月には、笠置寺境内にあるもみじ公園にて夜間もみじライトアップが実施され、賑やかな雰囲気包まれる。

雪の茶畑 和束町

雪化粧した茶畑の美しさ

茶畑と集落が織り成す雄大な景観が広がる和束町石寺の茶畑。冬の寒い時期に時折見せる雪化粧の美しさは圧巻。それほど標高が高くないため年に数回しかお目にかかれぬ貴重な風景だ。



背割堤地区の桜 八幡市

桂川・宇治川・木津川が合流する地

3つの川が交わり淀川へとその名を変える。宇治川と木津川に挟まれた全長約1.4kmの堤防、背割堤の両側に植えられた約220本のソメイヨシノが、春は鮮やかなピンクのトンネルに。男山の山並を望む河川敷はピクニックにも最適。

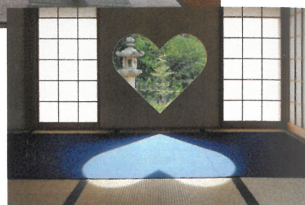




しょうじゅいん 正寿院のヨガ体験 宇治田原町

庭を見ながらお寺で
ヨガ体験

約800年前の創建と伝わる真言宗のお寺。客殿の則天の間にあるハート型の猪目窓や160枚の天井画が見どころ。ヨガ体験やオリジナル数珠作り、写経など様々な催しや体験も実施。



Yoga

Outdoor

カヌー・ボルダリング・キャンプ・サイクリング・ハイキング・ゴルフ 笠置町・南山城村

自然豊かな笠置町は、木津川流域でカヌーやボルダリング、キャンプが楽しめるほか、サイクリング・ハイキングコースも充実。南山城村も童仙房や高山ダムを中心にサイクリングやハイキングが盛んで、ゴルフも楽しめる。



Chatsumi



京都おぶぶ茶苑 和束町

3つの季節で茶摘み＆手もみ製法体験を実施

お茶のインターネット販売や茶畑オーナー制度といった新しい試みが注目され、日本のみならず海外にも展開している「京都おぶぶ茶苑」。春、夏、秋に茶摘み体験を実施しており、手摘みした茶葉の手もみ製法を体験することもできる。

自然を体験する。

【お茶のすべてが体験でき
大自然の息吹を感じられる地】

茶道は日本各地で体験できます。しかし、ここは「日本茶のふるさと」山城地域。気軽に、しかも本格的に茶道が楽しめ、茶摘みに茶葉の手採み、石臼挽き、さらには煎茶と玉露の飲み比べまで、お茶のすべてを体験することができます。他にも、山城地域には壮大な自然があります。日本カヌー発祥の地。ボルダリングのメッカ。ロードレースの大会も開催される山岳サイクリングコース。都心部にはない、大自然のアクティビティを体験できるのもお茶の京都エリアの魅力です。

Ocha



お茶の京都で
お茶を、



たくみのやかた 宇治茶道場「匠の館」の お茶の淹れ方体験

宇治市

お茶の魅力と本物の味を知る

日本茶インストラクターの丁寧な説明のもと、抹茶や煎茶、玉露などの喫茶メニューをいただけるほか、予約をすればお茶の淹れ方教室や茶香服ゲーム（聞き茶）などの体験も可能。



茶づな 宇治市

宇治や宇治茶が学べる体験型交流施設

宇治や宇治茶の魅力ミュージアムでの展示や映像、体験プログラムを通して発信する「お茶と宇治のまち歴史公園」内にある交流施設。茶摘みや抹茶づくりが体験でき、お茶にまつわるイベントも定期的に開催している。



たいほうあん 対鳳庵の茶道体験

宇治市

宇治川のほとりでお点前体験

初心者でも気軽に点前を楽しめる、宇治市営の茶室。季節の和菓子とともに本場の宇治茶を味わうことができる。煎茶・玉露に関する体験メニューも月4回実施。

朝日焼の陶芸体験 宇治市 宇治の老舗窯元で茶器づくり

小堀遠州より指導を受けた遠州七窯の一つであり、慶長年間に開窯した。熟成された宇治の土を使った独特の風合いの茶器を販売。登り窯の横には朝日焼陶館もあり、オリジナルの器づくりを体験できる。



Toge

おみやげで思い出を残す。

お茶の京都の



やわた走井餅老舗の 走井餅 八幡市

上品な甘さのやわらかな餡餅
石清水八幡宮門前で創業から250年
続く和菓子店の名物。湧水「走井」を用
いて餅を作ったことがその名の由来。



古老柿 宇治田原町 宇治田原町の冬の味覚

茶畑周辺に柿の木が並ぶ宇治田原町。
冬になると、柿屋で乾燥させた干し柿
「古老柿」が生産され、お茶屋さんや
スーパーなどで販売される。



洛いも焼酎 精華の夢 精華町

すっきりとした味わいで
飲みやすい焼酎
洛いもはヤマノイモ科の仲間であ
る。宇治の「ダイショ」の選抜品種。
100%精華町産にこだわり、米麴
も町内産の米を使用している。



御菓子司 松屋の 濃茶のバターケーキ「結」 城陽市

厳選した宇治抹茶を贅沢に使用したバターケーキ。口に広がる
濃茶の味わいが楽しめる。



久御山の京野菜 久御山町 とれたて直売の旬野菜

宇治川と木津川に挟まれた豊かな土壌の
久御山町は京野菜の一大産地。京都の料
亭などで多く使用されており、町内の直
売所でも購入できる。



御菓子司 亀屋芳邦の 源氏巻 八幡市

紅白の鮮やかな和菓子
源氏の氏神とされる石清水八幡宮から
南へ約1.5kmにある和菓子の名店。源
氏の旗を表す白餡を、平氏の旗を表す
赤い羊羹で巻いた和菓子が名物。

朝日焼の茶器 宇治市

伝統ある窯元の器で茶を堪能
約20もの工程を経て、お茶の風味を最大
限に引き出すよう作られた名陶の急須。
自宅でも美味しいお茶を味わえる。



ほうじ茶ちゃくら 和束町 和束町で人気のほうじ茶チョコ

和束町の茶農家、上香園が厳選した茶葉を
使用。ほうじ茶の香りがふわりと口の中に
広がる上品な味わいが人気のチョコレート
(販売期間10/1～翌年5/31)。



城陽酒造の梅酒 城陽市

城陽市の梅の産地、青谷梅林の梅(城州
白)のみを使ってじっくりと熟成させた
梅酒は濃厚かつマイルドな口当たり。



お茶の京都には

心と体を休める宿がある。



フェアフィールド・バイ・マリオット・ 京都みなみやましろ 南山城村

お茶の京都エリアの旅の拠点に最適。隣接する「道の駅 お茶の京都 みな
みやましろ村」では、宇治茶や抹茶スイーツをはじめ、村で育った野菜や
原木しいたけなど、南山城村の新鮮食材を味わえる。



SPA&HOTEL 水春 松井山手 京田辺市

全17種類のお風呂やロウリュウサウナに加え、6種類の岩
盤浴が楽しめる天然温泉付スパホテル。日帰り温泉だけで
なく、宿泊用と和洋様々なタイプの部屋やフィットネスジ
ムがあり、上質のホテルとしても快適に過ごせる。



LOGOS LAND 城陽市

食べて、遊んで、泊まれるアウトドア施設
アウトドアブランドLOGOSが運営する城陽市総合運動
公園の2つの宿泊施設。天候に関係なくキャンプ体験が
できる室内テント泊のほか、BBQ、レストラン、カフェ、
ショップなども充実。公園ではふわふわドームやロー
ラースライダーなどの大型遊具が楽しめる。



京都 和束荘 和束町

お茶の魅力を五感で感じる

和束青少年山の家を改装し、2016年に
リニューアルオープン。夕食には和束産
のお茶や季節の食材を使った彩り豊かな
会席料理を味わうことができる。食事処
や浴場から間近に茶畑が眺めることがで
けるのも茶源郷ならではの景色。

農家民宿 MARU+JYU

宇治田原町

ゲストハウスで農業体験

宇治田原町の茶工場をリノベーションしたゲ
ストハウス(営業は4月～11月)。京都深草砂利
を使った土間や黒谷和紙で仕上げた壁など、京
都らしさが随所に。茶摘みや田植えなど、季節
ごとの農業体験も可能。



ホテルルートイン京都久御山 久御山町

天然温泉 旅人の湯でゆったり

京滋バイパスと第二京阪道路が交わる久御山ジャンクション近
くに2025年3月27日OPEN! 広々とした天然温泉の大浴場
や無料の朝食バイキングがあり、観光やビジネスの拠点として
ご利用いただけます。



花やしき浮舟園 宇治市

客室全室から宇治川を望む

平等院のほど近くにあり、宇治川中州の塔の島を
望む料理旅館。宇治の四季を目と舌で感じる京料
理会席を堪能したら、宇治川を望む展望風呂で
ほっこり。館内レストラン「茶苑里」の昼食プラン
や、平日限定のお風呂付き食事プランも人気。



15

茶

京都のお茶

問い合わせ先

京都総合観光案内所(京なび)

京都府京都市下京区烏丸通塩小路下る東塩小路町 京都駅ビル2階
TEL:075-343-0548

宇治市/宇治市観光協会 TEL:0774-23-3353
城陽市/城陽市観光協会 TEL:0774-56-4029
八幡市/八幡市観光協会 TEL:075-981-1141
京田辺市/京田辺市観光協会 TEL:0774-68-2801
木津川市/木津川市観光協会 TEL:0774-39-8191
久御山町/産業・環境政策課 TEL:075-631-9964
井手町/企画財政課 TEL:0774-82-6162
宇治田原町/産業観光課 TEL:0774-88-6638
笠置町/一般社団法人 笠置町観光協会 TEL:0743-95-2011
和束町/和束町観光案内所 TEL:0774-78-0300
精華町/商工推進室 TEL:0774-34-0234
南山城村/産業観光課 TEL:0743-93-0105

発行元

お茶の京都DMO (一般社団法人 京都山城地域振興社)

京都府宇治市宇治乙方7-13 京阪宇治ビル1F
TEL:0774-25-3239
MAIL:dmo@ochanokyoto.jp

2017年8月発行
2021年6月増刷
2025年11月改訂

「お茶の京都」の情報はこちらから <https://ochanokyoto.jp/>



Facebook



Instagram



YouTube



SAVOR JAPAN®
Explore Regional Flavors